

■開催趣旨

防災・減災のために、家庭で・地域で・子ども会で何が出来るか
何を備えるか、次代を担う子どもたちに伝えるためにみんなで考える

■期日

2014年7月7日(月) 9:30~12:00 (2時間30分)

■会場

芦屋市立宮川小学校 コミスク室

■参加者

18名 (子ども会育成者5名、青少年愛護推進委員13名)

■概要

阪神・淡路大震災当時のまちの様子をスライドショーで鑑賞し、
被災体験を語り部(講師)に聞いた後、防災・減災に向けて、
家庭や地域でできることを全員参加型の意見交換で考えた

■実施スケジュール

時間	内容
9:30	あいさつ 芦屋市子ども会連絡協議会元会長 牧野君代氏
9:35	オープニングスライド 「阪神淡路大震災って…」
9:45	語り部によるお話し 「1. 17 あれから地域は、子ども会は、そして…」
10:15	全員参加型即答フリップ方式ディスカッション 「考えてみよう!地域でできる災害への備え」
12:00	終了・事務連絡 芦屋市子ども会連絡協議会元会長 牧野君代氏

■語り部

芦屋市子ども会連絡協議会
元会長 牧野君代氏

■ワークショップ運営チーム

ファシリテーター 一般社団法人兵庫県子ども会連合会
事務局長 浅見真一
スタッフ・記録 青少年活動リーダー 4名

■会場の様子



語り部のお話し



ディスカッション

■参加者の感想

- ・つながりの意味がわかりました
- ・何かしなくては…
- ・このようなやり方は、本音で話ができているな!
- ・楽しかったあ~
- ・とても素敵な時間をありがとう!
- ・考えることができてよかった
- ・有意義な時間でした
- ・地域の活動を起こしたい
- ・あの日を思い出した…つらい!
- ・みんなよく考えているなあ